

東京都教育委員会、国立市教育委員会の方針のもと

## 学校教育目標

学びあう子 助けあう子 きたえあう子

### I. 学校経営（チームくにご）の基本理念

#### チームくにご宣言Ⅰ

子供たちの感性や世界を尊重し、  
誇りと謙虚さをもって教育活動に邁進する。

#### 教職員・児童共に高め合う集団

#### チームくにご宣言Ⅱ

「子供たちの成長のためにはどのようにするのが一番よいのか」をいつも判断の基準にする。

### II. 学校経営（チームくにご）の基本姿勢

- |                           |                               |
|---------------------------|-------------------------------|
| (1) 子供の世界や感性を尊重する。        | (2) 授業力の向上を常にめざす。             |
| (3) 指導の基本を大切にし、全教員で徹底する。  | (4) 信頼ある開かれた学校づくりに努める。        |
| (5) 意識の変化に対応できる学校づくりに努める。 | (6) 今あるものを常に見直し、改善につなげる組織である。 |

### III. 教育目標を達成するための具現化の取り組み

#### 【人権教育の充実】

- ◎自己有用感を高める指導の工夫
- ◎良好な人間関係の構築
- ◎「認められた」と実感できる場の設定

#### 【心と体の健康教育の充実】

- ◎保健指導・給食指導・食育指導の充実
- ◎チーム読書プロジェクトの継続・推進
- ◎オリンピック・パラリンピック教育の推進  
(体力テスト、PUT・PUE、講演、指導法の研修等)

#### 【児童の安全を守る方策の整備】

- ◎校内生活ルールの徹底
- 地区班下校・セーフティ教室の充実
- 災害時の安全確保

#### 【道徳教育の充実】

- 道徳授業地区公開講座の充実
- 「特別の教科 道徳」の円滑実施。

#### 【教職員の資質向上】

- ◎授業を支える授業規律の徹底指
- ◎くにごOJTプロジェクトの発展
- ◎外国語活動の指導技術向上
- ◎「研究のくにご」への自負と自覚
- ◎言語能力の向上
- ◎「くにごメソッド」の再点検

#### 【保護者・地域との連携】

- ◎保護者・地域との連携（「ちょこボ」積極的活用）
- ◎H.P活用プロジェクトの推進
- 学校・学年・学級などによる速やかな情報発信
- ◎くにごサポート会議の内容改善
- ◎「放課後学習教室」「ほうかごキッズ」
- 桜守、農業生産者等との連携推進

#### 【幼・保小中連携の推進】

- 発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 相互授業参観等及び協議会の充実
- 日常的な情報交換・交流の推進(対中学・幼保)

#### 【外部機関との連携による問題の早期解決】

- ◎子ども家庭支援センター、市教育センター（教育相談室）等との速やかな情報共有
- ◎スクールカウンセラーとの連携
- いじめ対策委員会（くにごサポート会議）との連携

**【特別支援教育の充実】**

- 通常学級での特別支援教育の充実
- 学校としての「合理的配慮」、保護者との「合意形成」
- 全学級での交流及び共同学習実施
- 特別支援教室（はばたき）の開設

**【教育課程の適正実施と教育環境の整備】**

- 週ごとの指導計画の充実
- 掲示物の工夫、教室内の整理・整頓・清掃
- 「最大の環境は教師」
- 的確な事務処理

**【校務改善による職場環境の向上】**

- 経営会議・各部会の役割の明確化と連携による校務改善の推進（プロジェクトチーム継続）